

校訓、教育目標

げんきに なかよく わたしらしく  
一人一人の可能性を伸ばし、社会の中でその子らしく生きていく力を育てる。

教育方針

- 児童生徒の自立と社会参加を目指し、小学部から高等部までの一貫した系統的・組織的な教育の実践する。
- 一人一人の教育ニーズを把握し、児童生徒が人とやりとりしながら、主体的に学ぶ意欲を育む指導や支援の在り方を追求する。
- 地域との交流を推進し、地域の小・中学校等の児童生徒や地域の人たちと相互理解を図り、豊かな地域生活が送れる児童生徒の育成を目指す。
- 児童生徒一人一人の特性を理解し、関係機関や保護者と連携しながら安心・安全な学校づくりに努める。
- 教職員の資質と専門性を高め、学校の組織力、教育力の向上を目指し、日常的に学び合う研究・研修活動の充実を図る。
- 関係機関と連携を進めながら、インクルーシブ教育システムの構築に向け、特別支援教育のセンター的機能を発揮する。

多忙化解消の取組(業務の改善)

校務のスリム化を図り、ノー会議デーの設定、校内LANのさらなる利用促進を行う。

人権教育の推進

さまざまな人権問題に対する研修を行い、人権意識の高い学校づくりを目指す。

重点目標

<p>1 教育課程・学習指導・研修 (共通項目) (教務部)</p> <p>授業づくりに取り組む。</p>	<p>2 生徒指導 (共通項目) (指導部)</p> <p>児童生徒が健康で安全な学校生活を送ることができるよう支援する。</p>	<p>3 進路指導 (共通項目) (指導部)</p> <p>卒業後の生活を見通して、在学時から必要な支援を行う</p>	<p>4 支援 (独自項目) (教務部)</p> <p>地域の特別支援教育を推進し、センター的機能の充実を図る。</p>	<p>5 地域との交流 (独自項目) (小・中・高)</p> <p>交流及び共同学習において児童生徒が地域の人と関わりながら活動できるようにする</p>
---	---	---	--	--

具体的取組

a 個別の教育支援計画を活用し、キャリア教育の視点からねらいや支援を考え、授業改善に取り組む。

目標：指導の見直しと授業改善。85%以上

具体的取組

a ヒヤリハットの事例やアクシデント報告などを活用し、健康で安全な環境作りに努める。

目標：教職員間の情報の共有化により事故等を未然に防ぐ。80%以上

b 保護者と連携しながら、自分の体や健康を意識できるよう児童生徒一人一人に合わせて支援する。

目標：保護者と情報を共有しながら、健康の保持のため児童生徒一人一人に合わせた支援を行う。75%以上

具体的取組

a より現実的に進路について考えていくために、学校、保護者、相談支援専門員の連携を深める。

目標：児童生徒の進路について、学校、保護者、相談支援専門員の三者で共通理解を図る機会を持つ。80%以上

具体的取組

a センター的機能の理解を深めるために、本校のセンター的機能に関する研修や取組を活用する。

目標：センター的機能の研修会や相談同行研修などに、年3回以上参加して、地域の特別支援教育の現状と課題について考える。75%以上

具体的取組

(小) 本校と交流相手校の目標に沿った交流及び共同学習を実施する。  
目標：双方の目標に沿った交流及び共同学習の実施。80%以上

(中) 総合的な学習の時間に生徒が交流相手と関わりながら活動できるよう工夫する。  
目標：関わりを持てる活動の実施。80%以上

(高) 生徒が地域の人と関わりながら活動できるよう支援方法を工夫した交流及び共同学習を実施する。  
目標：支援方法を工夫し関わりを持つことができる活動の実施。80%以上

